

授業改善書

科目名	子どもの歌と伴奏法
担当者	佐山・舘岡・若宮・市川・孫

授業の概要

保育活動で行う子どもの歌の表現やピアノ伴奏の基礎的な習得を目指している。全体授業ではコードや伴奏法について学習し、弾き歌いの実技は後半の個人レッスンで行う。クラスを2つに分け、全体授業と個人レッスンを交代して行う。

授業の問題点

年々ピアノ経験のない学生が増えており、歌を歌うよりピアノを弾くことに困難を感じる学生については指導の時間がかかり、全体授業や個人レッスンの学生一人あたりの時間の配分が難しい状況がある。また、簡単に授業欠席をして欠時オーバーになり再履修者が多く出ることも問題である。

授業改善の課題・方策

保育活動における歌う活動の重要性及び弾き歌いは実習で重要な課題となることをしっかり認識させることと、取り組みのモチベーションを高めるよう課題曲や選択曲の選曲、曲数、楽譜の種類等を工夫したい。

その他